

What's NEW



品川区グローバル人材育成成熟開校

経済・社会等のグローバル化が進展する中、子どもたちが21世紀を生き抜くためには、国際的共通語となつている「英語」のコミュニケーション能力を身に付けることが必要です。このことは、子どもたちの将来のためにも、我が国の一層の発展のためにも非常に重要な課題だと考えます。

さらに、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催決定に伴い、国際都市品川区としては、オリンピック・パラリンピックでボランティア等として活躍できる人材の育成が求められています。

そこで、区立中学生を対象に「品川区グローバル人

材育成塾」を開設し、英語によるコミュニケーション能力や国際感覚を身に付けられるような機会を設けました。

「品川区グローバル人材育成塾」は、区内4つの会場校（大崎中学校・浜川中学校・富士見台中学校・荏原平塚学園）でほぼ毎日実



開校式（濱野区長 平成26年5月17日 荏原平塚学園）

施しています。会場校と曜日を選択することができ、ので、部活動等との両立が可能です。

1回のレッスン時間は90分間で、年間30回程度学ぶことができます。レッスンは英語を母国語とするネイティブ講師が行いますが、英会話の習得だけが目的ではなく、オリンピック・パラリンピック開催に向けて国際感覚が身に付けられるカリキュラムになっていきます。

5月17日（土）に荏原平塚学園で行われた開校式には、343名の中学生と200名以上の保護者が参加しました。濱野健区長による開校宣言が行われ、「オ



模擬レッスンの様子

リンピック・パラリンピックに関われるチャンスを生かしてほしい。海外で活躍できる人になってほしい」との言葉がありました。その後に行われた模擬レッスンでは、ネイティブ講師の問いかけを真剣に聞き、一生懸命に英語で答えようとしている中学生の姿がありました。

デジタル教科書やプロジェクタ、 タブレットPCなどICT機器を活用した 新しい授業がスタートします

品川区では、デジタル教科書やプロジェクタ、タブレットPCを活用した新しい授業をスタートするため、ICTを活用した教育活動推進校（小規模校支援10校）およびICTを活用した教育活動実践校（希望校12校）を指定し、本年度にICT機器の配備を行います。配備は、夏休み期間中に工事を行い、2学期から利用開始の予定です。

■ デジタル教科書や プロジェクタなどの整備

推進校および実践校の22校の普通教室などにデジタル教科書やプロジェクタ（電子黒板機能内蔵）、書画カメラなどを整備し、ICT機器を活用した授業に取り組んでいきます。デジタル教科書の機能を活用してビジュアルで分かりやすい授業を展開するほか、さまざまな教育活動の中で、効果的に活用し、児童・生徒の学習意欲を高めて

いきます。また、児童・生徒の発表にもプロジェクタなどを活用し、プレゼンテーション能力を育てていきます。



■ タブレットPCの貸与、 校内ネットワークの整備

推進校の10校の全児童・生徒にタブレットPCを貸与するとともに、校内ネットワーク環境の整備を行い、調べ学習や協働学習に取り組んでいきます。また、タブレットPCの手軽さやタッチパネル機能を生かした学習シ

ステム（民間企業と協力）を構築し、ドリル学習や予習・復習で活用できる機能など自学自習（家庭学習）の定着を図っていきます。そのほか、撮影機能を生かしたり、学習支援ソフト・プロジェクタと組み合わせ活用したりするなどして、さらに児童・生徒の学習意欲を高めていきます。

■ 特別支援学級に タブレットPCの配備

特別支援学級（固定級・通級）にタブレットPCを配備し、児童・生徒の個々の状況に応じた学習活動に活用し、今まで以上に学習支援や自立活動の充実を図っていきます。



■ 整備校

ICTを活用した教育活動
推進校（10校）

浅間台小、第四日野小、鮫浜小、台場小、中延小、宮前小、源氏前小、清水台小、大崎中、浜川中

ICTを活用した教育活動
実践校（12校）

城南小、三木小、城南第二小、第一日野小、芳水小、山中小、浜川小、京陽小、大原小、戸越台中、品川学園、豊葉の杜学園

特別支援学級

「固定級9校」

第一日野小、浜川小、中延小、荏原第五中、日野学園、伊藤学園、八潮学園、品川学園、豊葉の杜学園

「通級8校」

浅間台小、鮫浜小、台場小、宮前小、源氏前小、戸越小、大崎中、浜川中

**「交通事故」未然防止に
向けた取り組みを
実施しています**

交通事故を防ぐために、学校では市民科を中心に安全指導を行っています。

今年度はさらに、家庭への連絡、啓発に重点を置いて、次の①～③について実践しています。

① 安全ステッカーの配布

児童が自転車を利用する時に、常に安全を意識するように、区立小学校全児童を対象に安全ステッカーを配布しました。学校で安全ステッカーの目的と使用の仕方について指導をした後、自転車の貼り付けます。家庭でも交通安全についてこの機会に話し合っていたいただきたいと思います。

**② 「自転車の安全な利用と
点検・整備」チェックシート**

の活用

地域の皆様にも「8・3運動」等を利用して子どもたちの安全を見守っていただきたいと思います。

区立小学校の中学生を対象に「自転車の安全な利用と点検・整備」チェックシートを配布しました。

このシートは、自転車で横断歩道を渡る時に気を付けることや自転車に乗る時にヘルメットをしていないとどんな危険があるかなど、自転車利用時に注意することをチェックし、家庭での話し合いをお願いする内容となっております。

③ ヒヤリハット地図の作成

区では、土木管理課交通安全係と教育委員会・学校・地域等が連携を図り、通学路等危険箇所を示したヒヤリハット地図を作成しています。

各校、PTAや地域の方の協力を得て、交通事故に遭いそうになった場所、またはそれを目撃した場所について調査票を作成し、区が全体の地図としてまとめます。

作成されたヒヤリハット地図は、学校での指導に活用するほか、保護者会や個人面談等で情報を共有し、交通事故防止を図っていきます。

KEIZOKU topics

**「品川区いじめ根絶協議会」
を開催しています**

いじめ問題に関する情報や意見交換を実施し、いじめ根絶にオール品川で取り組めるよう、「品川区いじめ根絶協議会」を昨年度より開催しています。

これまでに、有識者・地域関係者・関係官公署・学校・PTA・教育委員会からの代表者により3回の協議会を開催しました。協議会では、学校・家庭・地域・関係機関等の役割について、グループ協議を重ね、各委員から出された貴重な意見は、リーフレット「品川区いじめ根



絶協議会から区民のみなさんへのメッセージ」として、家庭と地域に配布されました。今年度も3回の協議会（7月11日・11月21日・2月27日）を予定しています。

**「品川区立学校における
体罰等の実態把握」
調査結果を報告します**

平成25年度に発生した体罰、不適切な指導、暴言等および行き過ぎた指導または疑いのある事案の実態について、東京都が実施した実態把握調査について報告いたします。調査方法は、児童・生徒への質問紙調査と教職員への聴き取り調査です。結果は、誠に残念ながら、区立中学校3校において体罰がありました。紙面で誠に恐縮ですが、お詫び申し上げます。

再発防止に向け、教育委員会による学校への指導、教職員研修の充実、相談窓口の周知等を徹底し、体罰根絶に努めてまいります。

（詳細は都および区のホームページに掲載があります。）

**区長と教育委員の
連携強化に向けて**

6月10日（火）、濱野区長と区教育委員が、今年度初めての懇談会を行いました。

この懇談会は、行政部局長である区長と、教育委員が直接意見交換できる場を設けることにより、双方の連携をより強化していくことを目的に、25年度から実施しているものです。今回、濱野区長と、4月1日付で新しく任命された菅谷教育委員を含め5人の教育委員が出席しました。

冒頭、濱野区長は「2020年に東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、グローバル時代を迎えた学校教育において、今、何を優先して行うべきか一緒に考えご意見をいただきたい。」と挨拶しました。

約2時間の懇談の中では、品川区が全国に先駆けて行った学校選択制、英語教育の取り組み、区独自の市民科など、これまでの教育の進め方を振り返り、さらに推進していくことが

重要であることを相互に再認識しました。

また、外国からのお客様に対して話しかけられるような英会話力や、品川を含めた日本の地理や歴史を知ることの重要性、区民が継続して楽しめるスポーツの場の確保など、双方の立場から率直な意見が交わされました。

平成26年度は、計2回の懇談会の開催が予定されています。



**品川区では区固有教員の
採用を行っています**

品川区では、将来にわたり区の教育に教員として携わりながら、教育改革の中核を担っていく人材を確保する目的で区独自で教員の採用を行っています。この区固有教員には、品川区の教育理念に基づき実施する教育施策を主体的かつ積極的に推進することが期待されています。現在18名の区固有教員が区立学校で活躍しています。

また、18名の区固有教員は、平成24年度に設置された区長を会長とする「品川区教志研究協



議会」で資質や能力の向上に努めています。

4月の開講式では、区長の講義を通して品川区の各地区への理解をさらに深め、区固有教員への思い、願いを改めて感じる機会になりました。

また、平成25年度の研修から市民科・英語科・理数教育の3つのグループに分かれ、3年計画で授業実践やカリキュラム開発の研究を進めています。今回の研修では、昨年の研究を受け、今年の研究や授業実践の方向について、グループ協議を行いました。

夏には2泊3日の宿泊研修もを行い、本区独自の教育内容、指導方法の研究を深める予定です。



区固有教員
採用1年目を振り返って



日野学園 奥田 牧子

品川区固有教員として勤務し、1年が経過しました。昨年度は、忙しいながらも、学ぶことが多い充実した日々を過ごしました。

現在勤務する日野学園では、英語専科として1年生から6年生までの英語を担当しています。これまで他県で中学英語教員として勤務していましたが、小学生の英語に対する意欲や知識の高さにとても驚き、将来の英語教育の可能性を感じました。

また、小中一貫教育のよさも知りました。小中合同で授業研究や討議を行うことで、全国的な課題でもある、小中連携の難しさが解消されます。小中の教員同士が互いのよさを知り、教育内容を知ることが、結果として児童・生徒の継続的な教育に繋がることを実感しました。

これから品川区の英語教育は大きく変わります。区の固有教員として、今後の英語教育の発展のため、小中一貫教育の中心となって活躍できるよう全力で取り組んでいきたいです。



三木小学校 和田真由子

固有教員として品川区に来て、1年が経ちました。昨年度は、小中一貫校品川学園で元気で明るい子どもたちと教育熱心な先生方と共に充実した毎日を過ごしました。4月当初は、施設一体型の大きな校舎や品川一のグラウンドという恵まれた環境を生かし、どのような教育を繰り広げられるかと胸をいっばいにしました。また、1年生から9年生までが同じ校舎の中で学び成長していく姿を日々感じとれるのも、小中一貫校の魅力の一つであると実感しました。

品川学園では、習熟度別学習、教科担任制、姉妹校との国際理解教育等、新たな初等教育の在り方を日々研究し発信しています。その中でも、昨年度は算数科の習熟度別学習に力を注ぎました。授業の中では、子どもが自ら「分かる！楽しい！」と思える場面設定を心がけました。教員主導で授業を進めるのではなく、児童と共に創り上げていく授業はとても新鮮で、私自身の教科研究にも繋がりました。

今年度は、新たに三木小学校で教員をすることになりました。これからの時代を担っていく子どもたちを育てていくために、保護者や地域の方の力もお借りしながら、より一層の指導の充実を図りたいです。



八潮学園 新井 亮寛

同じ区固有教員の先輩方と3年計画で研究を進めていくこと、全国小中一貫教育サミットに参加し、様々な地域の教育にふれる機会があることなど、昨年度は品川区固有教員としてのやりがいと使命感を強く感じた1年間でした。

現在、私の勤務校である小中一貫校八潮学園は、1年生から9年生までが共に生活しています。1年生が9年生に手をつながれて入場する入学式、中学生が優しく小学生に接している姿を目にすることができる部活動、小中一貫教育のよさを様々な場面で感じることができました。また、ファミリー運動会、八潮祭り、八潮30周年記念式典などの地域行事では、学校と地域が一体となり子どもたちを育てているというのを感じ取りました。

このような恵まれた環境で、子どもたちとともに、2年目も「日々成長」していきたいと思えます。





立会アタッカーズ (男子)



第25回品川区長杯争奪小学生卒業記念バレーボール大会

3月21日、第25回品川区長杯争奪小学生卒業記念バレーボール大会が、総合体育館で開催されました。

男子2チーム・女子10チームの総勢350名が参加し、熱戦を繰り広げました。



- 優勝 立会アタッカーズ(男子)
- 準優勝 立会アタッカーズ(女子)
- 第三位 延山ヘガサス

NEWSAMADAI (女子)



立会キングス



第31回品川区少年育長杯争奪ソフトボール大会

第31回品川区教育長杯争奪少年野球大会が、しながわ区民公園を中心に、4月6日から5月11日まで開催されました。中学生14チーム239名が参加し、熱戦を繰り広げました。



- 優勝 立会キングス
- 準優勝 西大井倉田野球クラブ
- 第三位 宮前ジュニアーズ

富士見台中学クラブ

LIBRARY report



子ども読書の日

フェア

4月26日(土)、荏原文化センターにおいて「子ども読書の日フェア」を開催しました。

乳幼児から小学生までそれぞれの年代に、楽しみながら読書に興味をもってもらえるようにと企画し、好天に恵まれたなか、約1200人の参加がありました。

人形劇「赤ずきん」では、オオカミをおばあさんと思ひ込んだ赤ずきんに、「注意して!」と思わず声をかける子どももいました。各年代に向けた内容の3作品を上映した「子ども映画会」も好評でした。特に、人気児童書が原作の「マジックツリーハウス」が、小学生の人気を集めました。

乳児から小学生に向けたそれぞれの「おはなし会」では、熱心に聴き入ったり、保護者と一緒に手遊びに参加して笑顔を交わしたりする姿が見られ、「科学工作遊び」では、幼児は「くるくるアニメ」を、小学生は「ぶるぶるキャラクター」を作り、完成した自分の作品を動かして科学に

information

親しみました。

図書館で発行しているお勧め本リスト「よんでみたいなー」に載っている本や大型絵本の展示コーナーでは、ボランティアによる「乳児向けおはなし会」に参加したり、選んだ本の読み聞かせをしながらふれあったりしている姿が多く見られ、くつろいで読書を楽しむ親子連れで、終日賑わいました。



お知らせ

平成26年5月27日開催第9回教育委員会定例会にて品川区教育委員会傍聴規則の一部を改正いたしました。教育委員会は原則として公開されており、審議内容をより多くの方に傍聴していただくため、傍聴定員を10名から30名にいたしましたのでお知らせください。